

# 随意契約結果書

物品等の名称及び数量	I C Tと商用車プローブデータを活用したA Iによる道路維持管理システム
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 藤 卷 浩 之 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-10-7 福岡第二合同庁舎7階
契約締結日	令和 4年 7月 6日
契約の相手方の氏名及び住所	国立大学法人 長崎大学
契約金額 (消費税及び地方消費税含む)	¥48,999,500-
予定価格 (消費税及び地方消費税含む)	¥0-
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
備 考	

# 随意契約理由書

1. 件名：「ICTと商用車プローブデータを活用したAIによる道路維持管理システム」に関する業務
2. 履行場所：九州地方整備局 道路部 道路管理課
3. 随意契約の相手方：  
(法人名称) 国立大学法人 長崎大学  
(住所) 長崎県長崎市文教町 1-14
4. 随意契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号
5. 当該業務の目的・内容及び随意契約に付する理由：

- 1) 当該業務の目的

本業務は、道路点検にスマートフォン、ドライブレコーダー及び商用車プローブデータを活用し、高い品質と維持管理の効率化・高度化を図るとともに、路面劣化メカニズムを過去の点検データや道路台帳、交通量など様々な因子から分析を行い、道路管理者が業務を効果的・効率的に実施するための空間・時間・重要情報の重ね合わせによる一元的可視化手法を開発するとともに、今後、持続可能なDX時代のAIを活用した次世代型維持管理計画策定手法の構築を目的とする。

- 2) 業務の内容

- ① ひび割れによる陥没発生要因解析方式検討
- ② ポットホール発生要因解析
- ③ 物体検出AIを用いた区画線等の維持管理手法の検討
- ④ 標識、樹木等の道路物体検出手法の開発
- ⑤ 重交通道路における舗装劣化と交通量・速度との因果関係の解明

- 3) 随意契約に付する理由

国土交通省道路局により設置された学識経験者等で構成される「新道路技術会議」において、令和4年度から3年以内で道路政策の課題の解決を目指す研究課題を審査し、「国立大学法人 長崎大学」の研究テーマ「ICTと商用車プローブデータを活用したAIによる道路維持管理システム」が採択された。なお、審査基準、選考結果等については、国土交通省ホームページで詳細に公表されている。

以上のことから、本業務は、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、上記法人と契約を締結するものである。

(随意契約理由書作成者)  
道路部 道路管理課長 長友 浩信